

本誌もついに五〇号に達しました。創刊は大正二年二月ですので、既に六十四年の歳月が流れております。その創刊号は「祖山学院同窓会文学部」の刊行となっており、謄写版で和綴の六十二頁でした。謄写が不鮮明で読みにくい頁もありますが、同窓会や学友会の機関誌としてなつかしい記事が各頁をうづめ、貴重なものといえましょう。

現在では入手困難となっている『棲神』の復刻版がこの程、「大東出版社」から刊行されました。先師の研究論文や文芸作品・会報などを盛り込んで、充実した内容の中に号を重ね、第二十八号（昭和十八年）まで続きましたが、戦時中のため休刊しました。戦後二十八年に第二十九号を復刊し、爾来、続刊して本号をもち第五〇号となりました。

現在では学術研究発表の場として、成果を収めております。今後も更に百号・二百号と重厚な内容で号を重ね会員諸賢の御期待に応えて行きたいと念願いたしております。

身延山の学園も、古来、宗門の人材養成の上で、重要

な役割を果たして来ております。宗祖のお膝元で、僧侶としての行・学二道を精進することのできる唯一の学園であります。宗祖以来の伝統に輝く身延山の学園が、益々発展して行きますよう、同窓の諸賢や関係の各位に、一層の御支援をお願い致します。（上田生）

棲 神 五 十 号

昭和五十三年三月二十五日 印刷

昭和五十三年三月三十日 発行

編集兼 発行者 里 見 泰 穂

印刷者 宮 田 如 龍

甲府市中央二丁目十二―三十一  
印刷所 大 宣 堂 印 刷

山梨県身延山東谷

(☎NO、四〇九―二五)

発行所 身延山短期大学学会

振替(甲府) 一二七五番  
電話身延(要六) 二一〇一〇七

創刊号より第四二号までの復刻版ついに完成、待望の「棲神」十巻揃い

# 棲神

四十二冊を十巻に収録

A五版函入上製本

各巻平均六〇〇頁

定価 各巻七、〇〇〇円

東京都文京区白山一―三七―一〇

大東出版社

初版本の復刻

# 本尊論資料

第一編 身延相伝

第二編 諸山相伝

二巻一冊

身延を始め、中山・富士・藻原・玉沢等の諸山に相承されている本尊義の秘書を蒐集した本尊研究の重要資料。

A5判 上製本 六二八頁

原色図版五枚 写真一四枚

定価 七、〇〇〇円

京都市左京区今出川通川端東

臨川書店